

さかき 朋之

政策指針

「声」を市政で！！

全ての世代で未来(ゆめ)を語ろう。

平成23年3月11日。この日、東北地方を襲った大震災は、我々から掛替えのない数多くの尊い人命を奪い、多くの人の心に拭っても拭いきれない大きな傷を残しました。しかし、その日は同時に、この数年間、ただひたすらに日本人が追いつけていた経済を至上のものとして考える価値観が一変した日でもありました。どれほど我が身が追いつめられた境遇にあらうとも、決して周囲への配慮を怠らず、礼節と深慮遠謀を持って他人と接する日本人の美德に溢れた姿が世界中から称賛を浴びたのです。「物質的な価値よりも、もっと大切なものがある」そんな思いを日本中が再認識出来たのだと思います。奇しくも4年前のこの日こそ、私はこの地で政治活動を始めた日でもありました。

政治は決して万能ではありません。その事はあの日、痛切に思い知らされました。しかし我々は前を向いて生きて行かなくてはなりません。ならば、常に育むべきは人と人との「絆」であり、そこに根差す「公」の精神であるべきです。これこそがあの未曾有の大災害の際にも多くの市民を守ったものに他なりません。そしてそれをしっかりとサポートする事こそが行政のあるべき姿であると私は考えております。全ての市民がこの町に誇りを持ち、愛し、互いに助け合う。笑顔の絶えない地域の中で、全ての世代で未来(ゆめ)を語り合える。そんな社会を皆様と共に育んでいきたいと思っています。

平成二十七年 柳 朋之



春日市

教育環境の充実

- ◎コミュニティスクールの更なる発展
- ◎社会教育・家庭教育学級・生涯学習の充実
- ◎不登校・低学力児童の支援拡大

安心の子育て環境

- ◎待機児童ゼロを目指して保育の環境改善
- ◎子ども医療費助成の拡大
- ◎女性スキルアップ講座の充実

高齢者に優しい街

- ◎地域福祉サロンへの行政の支援拡大
- ◎介護サポーター養成の拡充
- ◎認知症対策の強化

安全な社会基盤の確率

- ◎狭隘(きょうあい)道路の改善、バリアフリーの促進!
- ◎ゲリラ豪雨対策の強化
- ◎春日北交番の誘致を!!

人と人が支えあう街の創出。
自治会活動への積極的な参加を!!

住民の相互協力・連携強化

「主役は市民!!」のまちづくり。